



ひがしの子

令和6年12月2日
岐阜市立岐阜東幼稚園
園長 広瀬 みゆき

東京都江東区より視察がありました。

11月7日(木)8日(金)に、東京都江東区役所子ども未来部保育支援課の職員の方が4名、視察にいらっしゃいました。養護教諭の「性の指導」でこれまでのテレビや新聞で取り上げられたものや、ホームページなどを見られ、岐阜市教育委員会幼児教育課に視察の依頼が入ったものです。

江東区は、今まで待機児童の対策に追われていたため、これから性の指導にも力を入れていきたいとのことでした。園長から岐阜東幼稚園の教育について、養護教諭から、これまでの性の指導についての取り組みや大事にしていること等幼児期の性の指導の大切さをお話しました。

課長さんをはじめ視察にいらっしゃった方々は、とても関心をもって話を聞かれたうえ、たくさん質問もされていました。視察後、メールで「当区でも生命の安全教育・性教育について、取り組んでまいりますが、岐阜東幼稚園での視察で、根幹となるもっとも重要な理念について学ばせていただいたように思います。」といただきました。私たちの取り組みが、広がっていくことは嬉しいことです。

視察にいらした方は、園庭の広さや豊かな自然環境にも感心していらっしゃいました。東京では感じられないことなのでしょうね。改めて、この環境で過ごしていることに感謝し、他所では経験できないような豊かな経験ができるようにしていきたいと思いました。



餅つきについて (お知らせ)

明日(3日)に「餅つき」を行います。ボランティアの応募についてもご検討ください、ありがとうございました。

餅つきの内容についてお知らせです。(通信でお知らせ済みではありますが・・・)

近年、園児や児童の誤飲事故が相次ぎ、給食の食材も見直されています。岐阜市でも、ウズラの卵や、白玉団子、イカが給食食材から外されました。

白玉団子も給食に出されなくなったことで、餅つきの餅を食べることについて、検討してきました。話し合いの結果、誤飲、窒息の恐れがあるため、餅つきの餅を幼稚園で食べないことにしました。食中毒の恐れから、持ち帰ることもできません。

しかし、田植えから稲刈りまで行い、稲の生長を見てきた後の餅つきで、何も食べないことはとても残念なことです。そこで、今年度は「蒸したもち米(おこわ)を食べる」ことにしました。地域の皆さん等から、「餅つきの前に蒸したもち米をつまみ食いするのがおいしいんやよ。」と教えてくださったことがヒントになりました。そのままでおいしいですが、子どもたちにはおこわに黄な粉をかけたものを食べてもらいます。お餅を食べてもらえず、申し訳ありません。

どうぞ、ご理解ご了承いただきますよう、お願いいたします。

今年度は花もちではなく、鏡餅を作ることにしました。小さい鏡餅ですが、一人一つずつ持ち帰ります。お正月に飾っていただけたら嬉しいです。

正月まで日にちがあります。カビが心配な方は、餅だけを冷凍庫で保存していただき、正月に出していただけたらと思います。鏡餅は食べることを前提として作っておりますので、飾って楽しんでくださるようお願いいたします。

